



雷・気象情報サービス「ライトニングステーション」

NEW レオマワールド 様



**NEW レオマワールド様は、  
お客様の安全確保と遊具故障の未然防止のために  
「Lightning Station」を活用しています。**



#### お客様プロフィール

- 所在地 : 香川県丸亀市綾歌町栗熊西 40-1
- 発足 : 1991年4月 開園
- U R L : <https://www.newreomaworld.com/>

NEW レオマワールドは、温泉宿の分野では国内トップクラスのシェアを誇る江戸温泉物語グループに属し、温泉宿を併設しているテーマパークです。

ペディーとポーリーというキャラクターを中心にしたテーマパーク運営を行い、「100年先も、この場所に。」というコンセプトのもと、三世代以上にわたって思い出をくれる場所を提供します。



#### 導入製品・サービス

- 「Lightning Station (ライトニングステーション)」

#### 利用目的

- 安全確保と遊具故障の未然防止

今回は同社の副支配人 日高様に安全管理体制の強化に向けて「Lightning Station」を導入した経緯と、その活用方法についてお話を伺いました。

取材日 : 2025年4月

## ■ 活用状況：落雷監視の目的

- 雷の監視についてお伺いします。どのように監視を行っているのでしょうか。

「Lightning Station」を使用して、雷の監視を行っています。営業中は常時稼働させ、雷が近づいてアラートが鳴ると、雷雲の発生場所や落雷の有無を確認し、社内で設けた基準に従って園内全体に指示を出します。

- 「Lightning Station」で落雷監視を行う主な目的を教えてください。

「Lightning Station」による落雷監視の目的は大きく分けて3つあります。

1つ目は来場者の安全確保、2つ目はアトラクションの故障の未然防止、3つ目は明確な判断基準による運用ができることです。

アトラクションへの落雷が電気系統に影響を与えると、アトラクションが運行中に停止するリスクがあり、来場者の満足度も極端に下がってしまいます。

また、来場者が乗車中に停止すると救助の難易度が上がるため、事前にそいつた事態を防止しなければなりません。

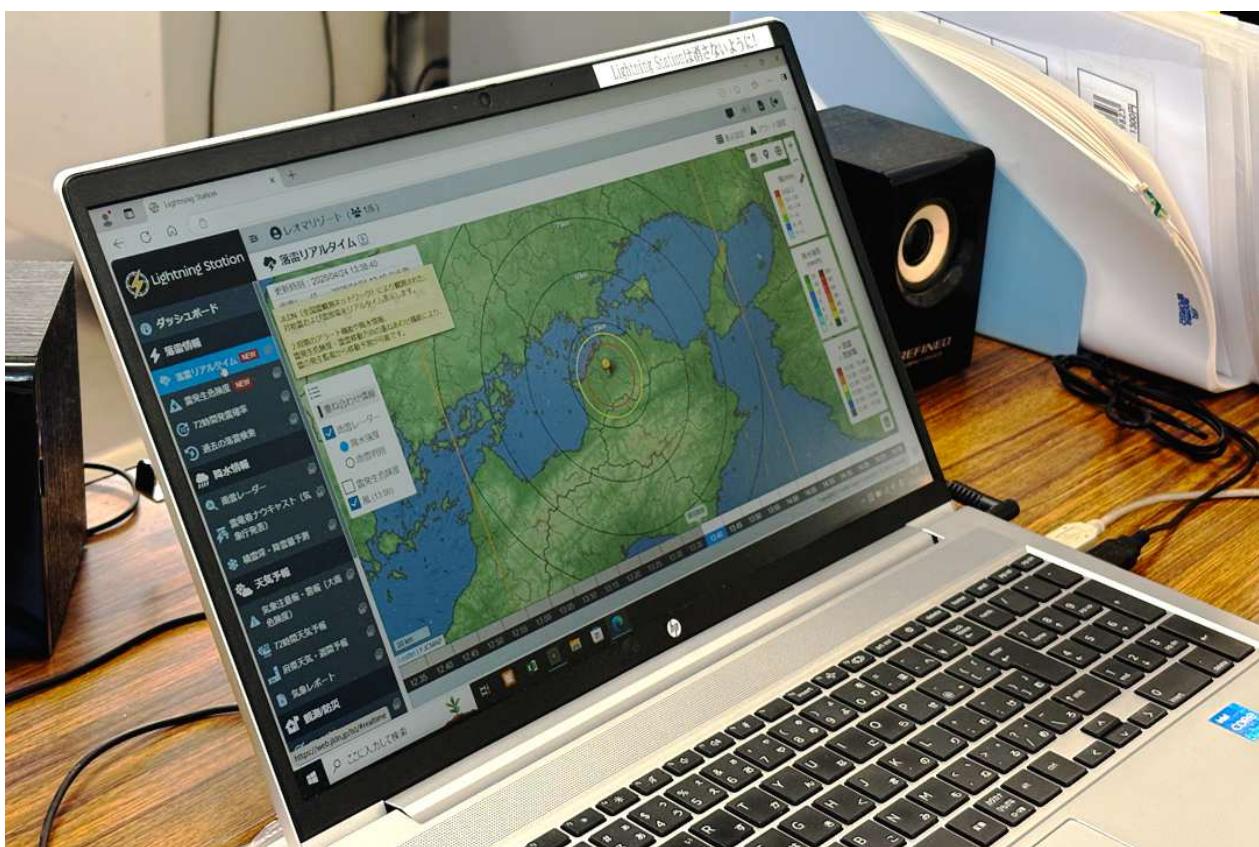
## ■ 運用方法

- 「Lightning Station」の運用方法を教えてください。

落雷中断基準（サンダーレベル）を3段階で設定し、運用しています。サンダー1は雷注意報が出て30km圏内で落雷が発生し、こちらに向かってきている状態です。

サンダー2 とは 15 km 圏内で落雷が発生している状態で、対象アトラクションに新規に並ぶことをお断りし、すでに並んでいる来場者の乗車が終わり次第第一時運休します。

サンダー3は数km圏内で落雷が発生した状態で、並んでいる来場者も含めて即時中止して避難勧奨を行います。





#### ■ 選定理由：導入以前の課題

- 「Lightning Station」の導入以前はどのような方法で落雷監視をしていましたか？

以前は非常にアナログな方法で対応していました。雲行きが怪しくなってキャストから稲光の報告が上がると上空を監視し、稲光を確認したら「1、2、3、4、5」とカウントして5秒以内に雷鳴があれば近いと判断するという方法でした。

しかしこの方法では、いきなり落雷があった場合に対応できず、アラートの再開判断も難しい状況でした。

また、社内外への説明のためにも明確な基準が必要でした。人の感覚だけでは判断にばらつきが生じますし、「今日は大丈夫な気がする」といったあいまいな判断は避けなければなりません。

テーマパークEXPOというイベントでフランクリン・ジャパンのブースを訪れたときに、雷を事前に確認できる「Lightning Station」を知ったことが導入のきっかけとなりました。

#### ■ 他社製品との比較

- 落雷監視サービスの導入にあたり、他社製品との比較検討はされましたか？

当時、信頼できる落雷監視サービスは「Lightning Station」以外には存在しなかったと思います。

テーマパークEXPOで「Lightning Station」を知った時点で、これは絶対に導入すべきだと判断しました。

#### ■ 選定の決め手

- 「Lightning Station」を導入した“決め手”を教えてください。

やはり明確な判断基準が作れることです。それまでのアナログな方法では、「何を基準に運営を中止したのか」という説明が難しく、人による判断のばらつきがありました。

「Lightning Station」を導入することで、客観的かつ明確な基準で来場者や従業員に避難の理由を説明できるようになりました。

「Lightning Station」は雷雲の方向や落雷した場所からの経過時間が把握できるので、単に中止するだけでなく、いつ再開できるかの判断もデータに基づいて行えます。

落雷中断基準がサンダー2 からサンダー1 に移行して 10 分以上経過すれば運行再開するといった基準を設けて、パークを安全に運営できるようになりました。

また、コスト面での妥当性もあります。導入費用もリーズナブルな印象で、得られる安全性や運営上のメリットを考えると、費用対効果は十分だと判断しました。



#### ■ 効果・評価：評価

— 「Lightning Station」について、評価をいただけますか？

導入して本当に良かったと感じています。

明確な基準ができたことで、プールなど特に危険度の高いエリアでも統一した基準で対応できるようになり、来場者の安全確保と避難誘導の精度が上がりました。

また、遊具の故障を未然に防止することで、雷による電気系統への影響を事前に避けられるようになったため、アトラクションの突然停止といったトラブルが減少しました。

そして落雷監視による中断で、「なぜアトラクションを中止したのか」といった質問に対して、客観的なデータに基づいて社内外に向けた説明責任を果たせるようになりました。

— 通年利用への拡大やライセンス数も追加していただいているですね。

「Lightning Station」の導入は7月から9月までの夏期限定利用でスタートしましたが、実際には10月や12月にも雷は発生するため、通年利用に切り替えました。また、当初は1~2ライセンスでしたが、現在は5ライセンスを導入しています。これにより、本部オフィスだけでなく、ショーの開催を判断するエンターテインメント部など他の重要な部署でも直接モニタリングできるようになりました。各部署が必要に応じてタイムリーに情報を確認できる体制が整い、雷が発生する時期には社長を含む多くのスタッフが同時に状況を把握しています。

— サービスを検討しているお客様向けに、おすすめポイントをいただけますか？

特に評価しているのは、「Lightning Station」がWebサービスとして常に進化している点です。

導入当初より現在は格段に機能が向上して、風向きと雨雲を同じ画面で確認できるようになり、雷発生危険度の予測も動的に表示されるようになりました。

最近では1時間先までの予測がアニメーションで確認でき、「何時何分頃に危険エリアに雷雲が入ってくる」という時系列表示も追加されて、さらに使いやすくなっています。

#### ■ 展望・期待：今後の期待

— フランクリン・ジャパンへの今後の期待をお聞かせください。

フランクリン・ジャパンへの期待としては、風のモニタリング機能のさらなる強化があります。

雷だけでなく、風の影響も私たちのテーマパーク運営には非常に重要なです。

特に花火やパレードなどのイベント判断において、風速や風向きの情報は欠かせません。

これまででもシステムが定期的に改良され、使いやすくなってきたので、今後も気象モニタリングの精度や利便性が向上することを期待しています。

NEW レオマワールド様、本日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

取材制作：株式会社カスタマワイズ

## 株式会社フランクリン・ジャパン

〒252-0212 神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-12

■ 製品・サービスについてのお問い合わせは

 **042-775-5656**

■ 製品・サービスの詳しい情報は

<https://www.franklinjapan.jp/>